

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（東京都千代田区）

Basic information

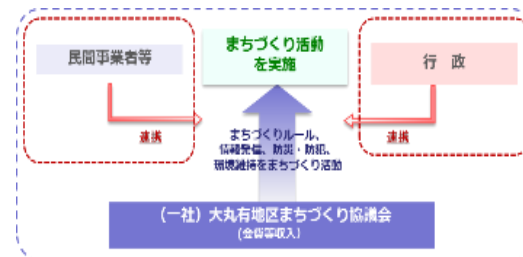
法人設立年月日	2012年
指定年月日	2013年
株主・構成団体等	構成団体：正会員=社員= 66社 準会員10社 特別会員9社

■法人の紹介

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり懇談会で策定されている「まちづくりガイドライン」を踏まえ、企業、団体及び行政等のまちづくりに係る主体との連携を図り、都市空間の適切かつ効率的な開発、利活用等を通じたまちづくりを展開することにより、当地区の付加価値を高め、東京の都心としての持続的な発展に寄与している。※任意団体として1988年設立。

■官民連携による事業推進体制

【組織概要図】



Project

1 PPPによる「ガイドライン」を基軸にしたまちづくり

本協議会と千代田区、東京都、JR東日本の4社が、まちの将来像、整備手法、ルールを検討、継続的に「まちづくりガイドライン」を更新しながら活動に取り組んでいる。



2 「日常使い」と「非日常の演出」による道路空間活用

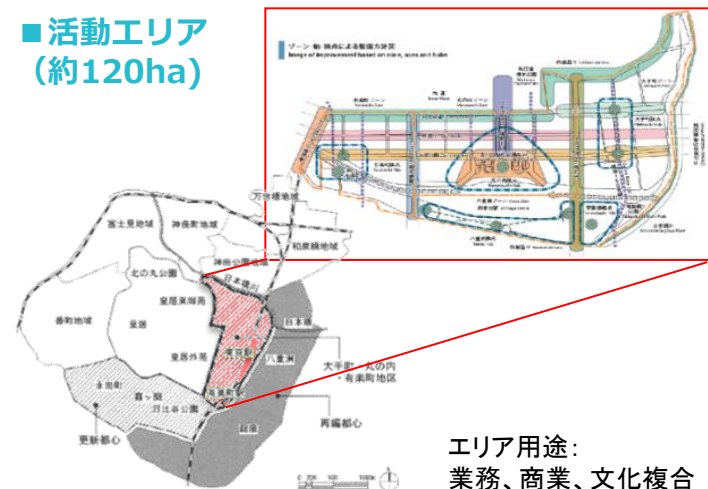
幅員2.1mの官民用地からなる丸の内仲通りにおいては、次の4点が取り組まれている。

- ①路面商業店舗の積極配置
- ②歩行者空間の拡大
- ③社会実験等を基にした人々の憩いの空間を創出
- ④就業者の交流や賑わい創出を図った多様なイベントの開催



来訪者にとっての憩いの場を道路に設置 (丸の内ストリートパーク2021)

■活動エリア (約120ha)

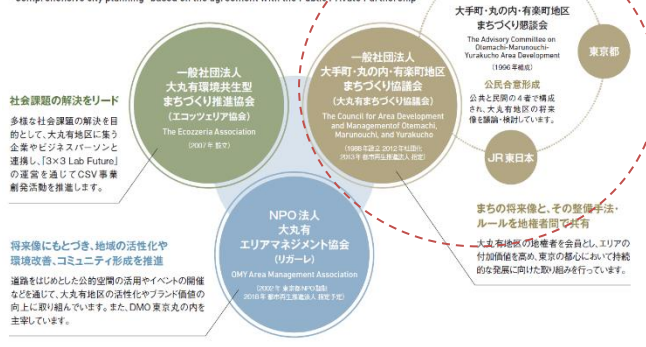


エリア用途：業務、商業、文化複合

<http://www.otemachi-marunouchi-yurakucho.jp/>

公民の合意形成にもとづく「面的な街づくり」

"Comprehensive city planning" based on the agreement with the Public Private Partnership



3 各種イベント開催

① Open City Marunouchi

普段は非公開の施設や活動等を就業者や来街者に紹介。地元企業や運営会社、工事関係者等との協力関係の強化、活動の円滑化に貢献。



② シンポジウムFACE

まちづくり、テクノロジーやアート等の専門家達が、これからのまちについて語り合い、新たなアイデアや都市の新しい価値を一般参加者とともに見出すシンポジウムを開催

